

新サービス「空き家あんしんサポート」の提供

2020年11月25日
北陸電力送配電株式会社

当社は、2020年12月下旬から、新サービス「空き家あんしんサポート」の提供を開始することといたしましたので、お知らせいたします。

近年、空き家戸数は年々増加傾向にあり、家屋の劣化による景観や治安の悪化が社会問題となっています。また、高齢化や若者の都市部への流出により空き家の担い手や管理する人材が不足しており、空き家の維持管理代行サービスへのニーズが高まっています。

このような社会的な背景を踏まえ、当社は、「地域の課題解決」に資する新サービスとして「空き家あんしんサポート」の提供を開始することといたしました。

「空き家あんしんサポート」では、北陸エリアの各地域で業務にあたっている当社の検針員が、お客様の空き家の維持管理をサポートいたします。具体的には、検針員が月に1回、お客様の空き家の外観・内観の確認、ポスト清掃、通気、簡易清掃、通水を行い、報告書を送付いたします。（詳細は別紙参照）

なお、現在、2020年12月下旬のサービス開始に向けて準備を進めているところであり、お申し込み方法や受付開始時期等については、改めてお知らせいたします。

当社は、今後も電力設備など持ち得る経営資源を最大限活用した新サービスや新規事業など、事業領域の拡大に向けて挑戦してまいります。

以上

別紙：新サービス「空き家あんしんサポート」の概要

新サービス

「空き家あんしんサポート」の概要

2020年11月25日


 北陸電力送配電株式会社



北陸電力送配電キャラクター
そらた

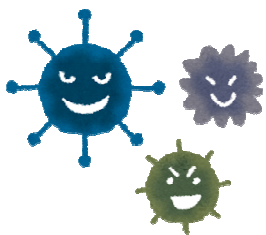
未来へ、めぐらせる。

© Hokuriku Electric Power Transmission & Distribution Company, All Rights Reserved. | CONFIDENTIA

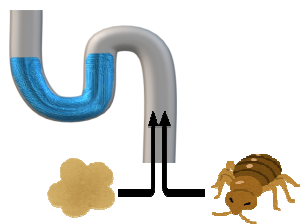
 北陸電力送配電

1. 空き家をお持ちのお客さまにおすすめです！

湿気による家屋の傷みが
気になる（カビ・シミ）



臭気・虫の発生が
気になる



チラシが溜まり、空き巣に
狙われないか心配



お家から空き家まで距離が遠く
定期的に訪問できない



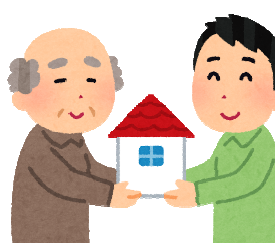
庭木がお隣に迷惑になって
いないか気になる



街の景観を壊していないか
心配である



いずれ相続を考えているので
大切に維持したい



急に家を空けることになり
管理を頼める人がいない



北陸電力送配電の「空き家あんしんサポート」サービスが、お客さまのお悩みや地域の課題を解決します！！

北陸地域の各エリアで業務にあっている当社の検針員が、お客さまの空き家の維持管理をサポートいたします。

- ・訪問頻度 月に1回
- ・内 容 外観 内観の確認、ポスト清掃、通気、簡易清掃、通水、報告書作成・送付
- ・対象地域 北陸電力送配電エリア（富山県、石川県、福井県（一部を除く）、岐阜県の一部）
- ・利用料金 月額6,000円（税抜）
- ・開始時期 2020年12月下旬（予定）

(参考) サービス実施イメージ



© Hokuriku Electric Power Transmission & Distribution Company, All Rights Reserved. | CONFIDENTIAL

3. お問い合わせ先

本サービスに関するお問い合わせは、下記メールアドレスまでお願いいたします。

サービスに関するお問い合わせ先

akiya@nw.rikuden.co.jp

(夜間や土・日・祝日・年末年始のお問い合わせは、翌営業日以降に対応させていただいております。)

サービスに関する申込方法・受付開始時期
ただいま準備中。改めてお知らせいたします。

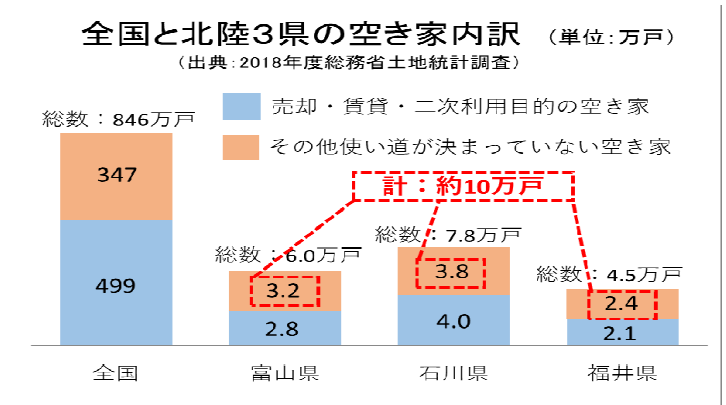
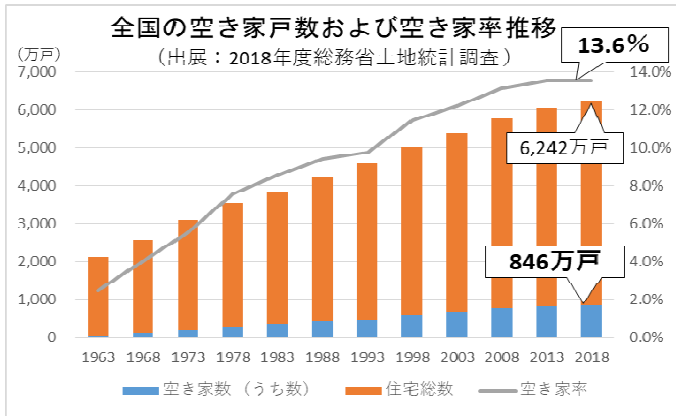


© Hokuriku Electric Power Transmission & Distribution Company, All Rights Reserved. | CONFIDENTIAL

【ご参考】 空き家件数について

- 近年、空き家戸数は全国で年々増加傾向にあり、最新の統計値で**846万戸**、住宅総数に占める空き家率は**13.6%**となっている。
- 社会問題となりつつある「空き家」とは「**その他使い道が決まっていない空き家**」を指すことが多く、**北陸3県で約10万戸**ある。

※ 空き家にしておく理由は、「物置として必要」「解体費用をかけたくない」「将来、自分や親族が使うかも知れない」「仏壇など捨てられないものがある」など（出典：2014年国土交通省空き家実態調査 n=461人）



未来へ、めぐらせる。

